

令和 7 年 12 月 24 日

二学期終業式式辞

みなさんおはようございます。残暑を超え、紅葉が錦のように美しい秋を超えて、星冴(さ)ゆる季節を迎えました。特に、校庭の銀杏が色艶やかで長くない秋でしたが記憶に残ります。この長い2学期、思い通りに事が運んだ事、運ばなかつた事、すでに終わった事、まだ終わっていない事、等、みなさんにとってどのような2学期だったのでしょうか。人としての気高さを高め正しく生きたのか、許されない事をしなかつたのか、自分の幸せだけでなく、他者の幸せを考えることができたのか、言い訳や愚痴ばかりでなかつたか、グローバルに世の中の状況を把握し計画的に自己実現に向かえたのか、等、心静かに振り返る時間をとり自己評価して下さい。そして、改め・学び・成長して下さい。特に3年生はまもなく卒業です。社会に通ずる人格が育まれているのか、より深く問うようにして下さい。ただし、苦難に押し潰されそうな時もあります。その際は周囲へ相談して下さい。又、遠慮せず校長室を訪ねて下さい。この年になれば喜びも悲しみも多く経験しています。話し相手になれると思います。

ここで、2学期の喜ばしい報告を数点させていただきます。10月28日、17:00頃、本校生2名が体調不良の地元小学生を、小学校の教員が到着するまで、約40分間、優しく適正に介助しました。通りかかった地域住民の方がその様子に感銘し、お褒めの連絡をいただきました。更にもう一名、11月7日、下校時に体調不良の高齢者に対して30分程度、心臓マッサージ等の救急処置を施す等、適正に対処しました。貝塚警察より感謝状が贈られます。3名には校長室に来ていただき誇らしい行動に称賛の意をお伝えました。本校の誇りです。次に、本校関係者が一体となり取り組んだ貝南祭は規範意識高く、個性が束ねられた美しい仕上がりでした。マレーシアとの学校間交流、アメリカ・カルバーシティーの生徒さんとの交流、関西国際空港での実践的な英語体験学習、2025グローバル体験プログラム等では多文化共生社会の実現にむけ貴重な経験をしました。10/28～11/25の授業観察では他者への思いやりを忘れず好奇心を掻き立て個々に黙々と又、協働で意欲的に学ぶみなさんやみなさんを粘り強く支える先生方を確認できました。特に、活気みなぎる1年生に期待が膨らみます。11/10にはコスモスシアターにて本校演劇部が独創性溢れるパフォーマンスを披露しました。お題は「花束にポインセチアを添えて」です。観客席の私の周辺にいた他校生から「すごい」「すごい」の称賛の声が確認できました。吹奏楽部の広域にわたる活躍等、その他の教育活動を含め総合的に学校組織の現状を分析しますと課題はゼロではありませんが、飛躍する本校の勢いは衰えを知りません。社会や組織が正しい軌道で飛躍していくのはそこに所属するすべての人が正しく生き、学び続ける事が大原則です。その上で、個々の役割分担を果たすだけでなく、他者のために動く意識を持つことが重要です。みなさん、共に肝に銘じ、チーム貝塚南の更なる飛躍とAIでは代替え困難な個々の人間力の向上に向かいましょう。終えわりになりますが、明日からの冬休み、他者への思いやり・様々な学びを軸とし人間力を高めることのできる生活を心が

けてください。加えて、新年（馬年）良い年をお迎え下さい。1月8日（木）、元気に登校するみなさんを待っています。以上、2025べの式辞とします。

藤田繁也